



Kimura Eye & Int Med Hospital

ひかりいっぱい新聞

2022年
開院110周年を迎えます



明治45年5月3日の中國新聞、
呉版のページに掲載された
開業広告



理事長・院長
木村友剛

1912年、呉市中通二丁目にて木村春治郎が木村眼科院を開業し、1978年には内科を併設した木村眼科内科病院として診療を行ってまいりましたが、お蔭をもちまして本年5月に開院110周年を迎えることができました。呉市と周囲の地域の患者様をはじめ、多くの皆様方に支えていただき今日を迎えたことを、あらためて心より感謝申し上げます。

本年4月から、木村友剛は理事長、木村格は総院長として新たに就任し、若返った運営体制で地域の医療の一端を支える役割を果たしてまいります。

今後もより良い診療を目指して一歩ずつ進み、皆様のお役に立てるよう日々邁進してまいりますので、引き続き皆様のご支援、ご協力を賜りますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。

木村眼科内科病院のあゆみ

1912 (明治45年)

1947 (昭和22年)

1948 (昭和23年)

1961 (昭和36年)

1974 (昭和49年)

1979 (昭和54年)

1980 (昭和55年)

1986 (昭和61年)

1989 (平成元年)

1994 (平成6年)

2004 (平成16年)

2015 (平成27年10月) 呉市宝町(現在地)へ新築移転

2018 (平成30年4月) 四代目院長に、山川良治が就任

2021 (令和3年4月) 五代目院長に、木村友剛が就任

2022 (令和4年5月) 開院110周年を迎える

呉海軍工廠職工共済会病院(現・呉共済病院)を

辞した初代:木村春治郎により木村眼科院として開設

昭和21年に復員した木村 繁が二代目院長に就任

呉市中通に建物を再建、診療開始

コンクリート2階建て、病床20床の「木村眼科病院」へ

三代目院長に、木村亘が就任

二代目:木村 繁により、医療法人社団 ひかり会に改組、

分院:焼山木村眼科を開院

建物を増改築、延床3,000m²、ベッド数45床、

内科を併設し「木村眼科内科病院」となり、

三代目の三兄弟による「目の総合病院」を目指す

増改築して設備・ベッド数を更に充実させ、病床53床へ

焼山木村眼科ビル完成

受付・内科・病室を増改築、延床約3,500m²

焼山木村眼科を増改築、機器も一新し、

正化圭介 院長を迎えてリニューアル開院

四代目院長 山川 良治

五代目院長 木村 友剛



初代院長 春治郎、二代目 繁(昭和31年)



三代目院長 亘、理事長 徹、副院長 治



写真で振り返る木村眼科内科病院



木村眼科と春治郎(昭和28年頃)



診察中の繁(昭和28年頃)



木村眼科病院(昭和36年)



管理棟建設地鎮祭(昭和51年)



木村眼科内科病院パース(昭和55年竣工)



当時の最先端の手術室(昭和56年)



眼科検査室(昭和56年)



診察室(昭和56年)



全職員での毎朝の朝礼(昭和56年)



仏通寺での職員研修(昭和56年)



院内カンファレンス(昭和60年)



第1回糖尿病教室(昭和62年)



受付・内科・病棟を増改築(平成6年)



日本眼科看護研究会を主幹(平成9年)



リニューアル開院した焼山分院(平成16年)



新病院建築地鎮祭(平成26年)



新病院全景(平成27年竣工)



木村 友剛 理事長・院長

一人ひとりの患者さんにとつて、もっとも良い診療ができるように頑張ります。



木村 格 総院長

大都市に行かずとも、この県で皆さんのが受けたい治療、最新の眼科医療を提供できる病院を目指します。

次の100年 伝統と使命を 担って



木村 徹 名誉理事長

お陰様で「110年」有難うございました。ご信頼に感謝し、命の続く限りやり抜きます。



木村 聰 副院長

患者さんに寄り添った医療を提供できるように全力を尽くします。



木村 治 名誉副院長

これからも地域に根ざし、かかりつけ医として皆様のお役に立てるよう励んでまいります。



木村 亘 名誉院長

目の不調で心が病む時は「心療眼科」にご相談ください。



正化 燒山木村眼科院長

「優しい笑顔と安心医療」をモットーにこれからも地域医療に貢献してまいります。



武田 外来医長

受診して良かったと思われる診療を行い、より信頼される病院になるように精進します。



奥井 外来師長

皆様の貴重なお時間を大切にし、安心と笑顔で帰路について頂けるケアをお届けします。



城 病棟師長

患者さんの入院中の不安が一つでも少くなり、満足が増えていく、そんな病棟でありたいと思っています。



青木 地域医療連携室室長

地元の病院と連携し、一丸となって患者様のお役に立てる眼科専門病院を目指します。

地域や国内外での医療・学術活動も続けます

私はこれまで病院外でも地域医療や学術活動のお手伝いと努力をして参りました。呉市内外20数校での学校健診はもとより、各種の健康大会への協力(写真①)、呉・広島の眼科医との勉強会(写真②)は30年にわたって主催しており、現在はコロナ禍のためWeb開催で続けております。大学(京都大学(写真③)、広島大学)や看護学校(共済病院、医師会病院)での学生講義も長年受け持たせていただき、また研究会(広島神経眼科セミナー(写真④)を主幹し神経眼科の啓発にも努めて参りました。国内外の学会



①「眼」の出前講座



②第60回オープンカンファレンス(平成3年)、
6月には第278回を開催します

発表(写真⑤)や参加は常時続けており、海外ボランティア活動(インド(写真⑥)、ネパール、タンザニアなど)では白内障手術後に光を取り戻して感涙される姿に、こちらも奉仕の悦びを味わわせて頂きました。これからもいろいろな形で皆様のお役に立ちたいと思っております。



③京大講義



④広島神経眼科セミナー(平成24年)



⑤国際学会 ARVO(視覚と眼科研究会
協会会議)で発表(フロリダ)



⑥インド・アイキャンプ(平成2年)

いとう むねかつ 4月から 伊藤 宗桂 医師 が着任致しました



眼科専攻医 【卒業年次】2017年 札幌医科大学卒 【専門】眼科一般

【趣味】筋トレ、競技スキー、山スキー

神戸市立西神戸医療センター、京都大学医学部附属病院、倉敷中央病院で勤務後、4月から勤務させていただいております。岡山県に続き温暖な気候の広島県で働くことができ、大変嬉しく思っております。兵庫県出身で生糸の阪神ファンですが、今後は広島カープも応援していくたいと考えております。慣れない環境でご迷惑をお掛けすることもあるとは思いますが、少しでも早く皆様のお役に立てるよう努めてまいります。何卒よろしくお願ひ申しあげます。

古郷医師は3月末で異動致しました



呉に来て1年と短い間でしたが、多くの患者様と接することができました。初めての土地と、今までの総合病院とは違うシステムに最初は戸惑いましたが、スタッフや患者様に恵まれ、私自身、医師として、人として少しは成長できたのではと思います。これからは皆様から学んだ貴重な経験を生かし、より皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいと思います。

医療法人社団ひかり会

木村眼科内科病院

〒737-0029 広島県呉市宝町3-15

TEL : 0823-22-5544[代表]

0823-21-1000[病棟専用・夜間・休日]

FAX : 0823-25-9010

<http://www.kimura-eye.or.jp/>

医療法人社団ひかり会

焼山木村眼科

〒737-0935 広島県呉市焼山中央1丁目10-9

TEL : 0823-33-8259

FAX : 0823-33-8279

木村眼科

検索 できます。